東京エレクトロン デバイス株式会社
NINTENDO64
NUS-NMPJ-JPN
マリオと一緒にいろんなカードを作ろう!!
スマートメディア専用カセット
キャラクタ集対応
イラスト集対応
マリオのふぉとぴー
取扱説明書

ごあいさつ

このたびは任天堂“NINTENDO 64”専用ソフト『マリオのふぉとぴー』をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に取り扱い方、使用上の注意など、この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しい使用方法でご愛用ください。
万一、お客様の操作方法の誤りや、機器の誤動作によりスマートメディア内の画像等の情報が消滅・破壊した場合、関連各社は一切の責任の負担をいたしません。
くれぐれも正しい使用方法にてお取り扱いをしてください。
なお、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

健康上のご注意

⚠警告

●疲れた状態や、連続して長時間にわたる使用は、健康上好ましくありませんので避けてください。
●ごくまれに、強い光の刺激や、点滅をうけたり、テレビ画面などを見たりしている時に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を経験する人がいます。こうした症状を経験した人は、プレイをする前に必ず医師と相談してください。また、プレイ中に、このような症状が起きた場合には、プレイを中止し、医師の診察を受けてください。
●プレイ中にめまい・吐き気・疲労感・乗物酔いに似た症状などを感じた場合は、直ちに使用を中止してください。その後も不快感がつづいている場合は医師の診察を受けてください。
●プレイ中に、手や腕に疲労、不快や痛みを感じた時は、プレイを中止してください。その後も痛みや不快感が続いている場合は、医師の診察を受けてください。それを怠った場合、長期にわたる障害を引き起こす可能性があります。
●目の疲労や乾燥、異常に気づいた場合、一旦使用を中止し5分から10分の休憩をとってください。
●他の要因により、手や腕の一部に障害が認められたり、疲れている場合には、プレイをすることによって、悪化する可能性があります。このような場合は、プレイをする前に医師に相談してください。

⚠注意

●健康のため、プレイをお楽しみになる時は、部屋を明るくしテレビ画面からできるだけ離れてご使用ください。
●長時間プレイをする時は、適度に休憩をとってください。めやすとして1時間ごとに10～15分の小休止をおすすめします。

使用上のご注意

⚠警告

●使用しない時は、安全のためACアダプタのプラグをコンセントから必ず抜いてください。接続したままにしておくと、火災や故障の原因となります。
●カセットの分解や改造は絶対にしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
●雷がなりはじめたら、安全のためカセットや本体、ACアダプタに触らないでください。落雷によっては感電の原因となります。
●スロットには金属片等スマートメディア以外の物は絶対に入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。

⚠注意

●NINTENDO 64をプロジェクションテレビ（スクリーン投影式のテレビ）に接続すると、残像現象（画面焼け）が生ずるため、接続しないでください。
●本体の電源スイッチを入れた状態でスマートメディアを入れたり抜いたりすると、記憶している内容を破壊する事があります。本体の電源スイッチを切り、スマートメディアを入れたり抜いたりしてください。
●カセットはプラスチックや金属部品が含まれています。燃えると危険ですので廃棄する場合は各自治体の指示に従ってください。

使用上のおねがい

●カセットを差し込む時は、カセットや本体に無理な力が加わらないように十分注意して、最後までしっかりと差し込んでください。無理な力で差し込むと、故障の原因となります。
●精密機器ですので、極端な温度条件下でのご使用や保管および強いショックを避けてください。故障の原因となります。
●端子部に手を触れたり、水にぬらすなど、汚さないようにしてください。故障の原因となります。
●ほこりやごみが入らない状態にして保管してください。スロットにほこりやごみが入ると、故障の原因となります。
●画像加工中に、本体の電源スイッチを切った場合、リセットボタンを押した場合やカセットを抜いた場合には加工中の画像は破壊され復元することはできません。
●シンナー・ベンジンなどの揮発油、アルコールでは絶対ふかないでください。材質が変質して傷めることがあります。
●カセットを抜き差しする時は、必ずNINTENDO 64本体の電源スイッチを切ってください。電源スイッチを入れたままで抜き差しした場合、本体やカセットが故障することがあります。
●3Dスティックや十字キーを無謀に操作すると、故障の原因になるばかりでなく、まれにこれまでの処理に支障をきたすおそれがありますので注意してください。

スマートメディアについて

●スマートメディアスロットについて

・"マリオのふぉとぴー"には、スマートメディアを差し込む2つのスロットがあります。スロット1（本体正面から見て左側）とスロット2（本体正面から見て右側）は、3.3Vのスマートメディア専用スロットです。

・スマートメディアのコネクタ（金属部分）を本体正面から見て後ろ向きにし、差し込んでください。（スマートメディアの写真をご参照ください。）

●使用可能なスマートメディア

・使用可能なスマートメディアは、3.3V品の2／4／8／16Mbyte（メガバイト）です。
尚、スマートメディアは別売りとなっております。（5Vのスマートメディアは使用できません。）

●スマートメディアの差込・抜き取り方法

・本体の電源スイッチが切れた状態でスマートメディアの差込・抜き取りを行ってください。
抜き取りは必ずイジェクトボタンを完全に押してから行ってください。

・スマートメディアへのデータ保存、データの消去中に本体電源を切ったり、リセットボタンを押したり、カセットを取り外すと、操作中の画像は破壊されます。最悪の場合、スマートメディア自体がこわれることがありますので、ご注意ください。また、空き容量が少ない場合、アトリエ、出力センター、スライドショーでの保存ができない場合がありますので、ご注意ください。

●スマートメディアへの書き込み防止機能について

・重要な画像や情報が記録されたスマートメディアで、誤書き込み等によるデータの破壊を防ぐためにはスマートメディアの所定の位置にライトプロテクトシールをはってください。

●スマートメディアの取り扱い上の注意事項

・スマートメディアの取り扱いについては、スマートメディアの説明書またはスマートメディアが添付されていた機器の説明書をお読み頂き正しい使用方法にてお使いください。
[対応スマートメディア] 2/4/8/16Mbyte（3.3V）
[対応デジタルカメラ] Exif ver1.0/1.1/2.0/2.1,JFIF（JPEG基準）で記録されたもの
[対　応　画　素　数] 最大200万画素

●別売りのイラスト集、キャラクタ集について

・別売りのイラスト集、キャラクタ集はスマートメディアで提供されます。取扱いについては、イラスト集、キャラクタ集の説明書をお読み頂き正しい使用方法にてお使いください。

・別売りのキャラクタ集のプリントは必ずふぉとぴープリント取扱店へお出しください。

・取扱店以外でプリントを行った場合、キャラクターがプリントされない等プリントが不完全になります。

・ふぉとぴープリント取扱店は販売元にご確認ください。

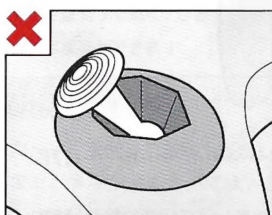
NINTENDO 64コントローラについて

NINTENDO 64コントローラを使用する上で、次のことを注意してください。

●3Dスティックの機能

この3Dスティックは、スティックの傾斜角度と方向を読みとることにより、微妙な操作ができるアナログ方式のスティックです。そのため、従来の十字キーでは表現しにくかったキャラクターなどの微妙な動きも可能になります。

＊NINTENDO 64本体の電源スイッチを入れる時に、コントローラの3Dスティックの部分に触らないでください。

＊本体の電源スイッチが入った時に、3Dスティックの位置を「ニュートラルポジション」と呼びます。

この時に、3Dスティックが傾いている場合（左上の図）、傾いた状態が「ニュートラルポジション」と設定されます。このようにニュートラルポジションの位置がズレた状態では、3Dスティックが正常に操作できなくなります。正しいニュートラルポジションの位置（左下の図）に修正する場合、次の操作をしてください。

3Dスティックから指を離し、LトリガーボタンとRトリガーボタンを押しながらスタートボタンを押してください。（再設定機能）

＊3Dスティック内部に液体や異物を入れないでください。故障の原因となります。もし誤って入った場合は、お買い上げ店にご相談ください。

＊3Dスティックの使用方法については、5ページ操作説明をご覧ください。

●コントローラの握り方

「マリオのふぉとぴー」では、右の図のようなコントローラの握り方（ライトポジション）をお薦めします。この握り方では、左手親指で3Dスティックを自由に操作することができ、右手親指でA／BボタンおよびCボタンユニットを使い分けることが可能です。また人差し指は、コントローラ裏側のZトリガーボタンを間違えて押してしまう事のないように、自分に合った位置に添えておくとよいでしょう。

●コントロールコネクタへの接続

マリオのふぉとぴーでは、コントローラは本体全面のコントローラコネクタ1～4のうち、1コネクタへの接続で操作する事ができます。

マリオのふぉとぴーの特徴

本ソフトは、しゃしん同士を合成したり、クリップアートやプリントわく等を追加し、楽しい作品を作るためのソフトです。また※「F-DIサービス」用のデータをスマートメディアに出力する他に、スマートメディアを差し込めるプリンターから、スマートメディアを通して、直接はがきサイズにプリントアウトする事ができます。これにより、年賀状、暑中見舞い、クリスマスカード等を、今までよりもずっと手軽で、楽しく、美しい画質で作る事ができます。実際の作り方は「つくってみよう！」で説明します。

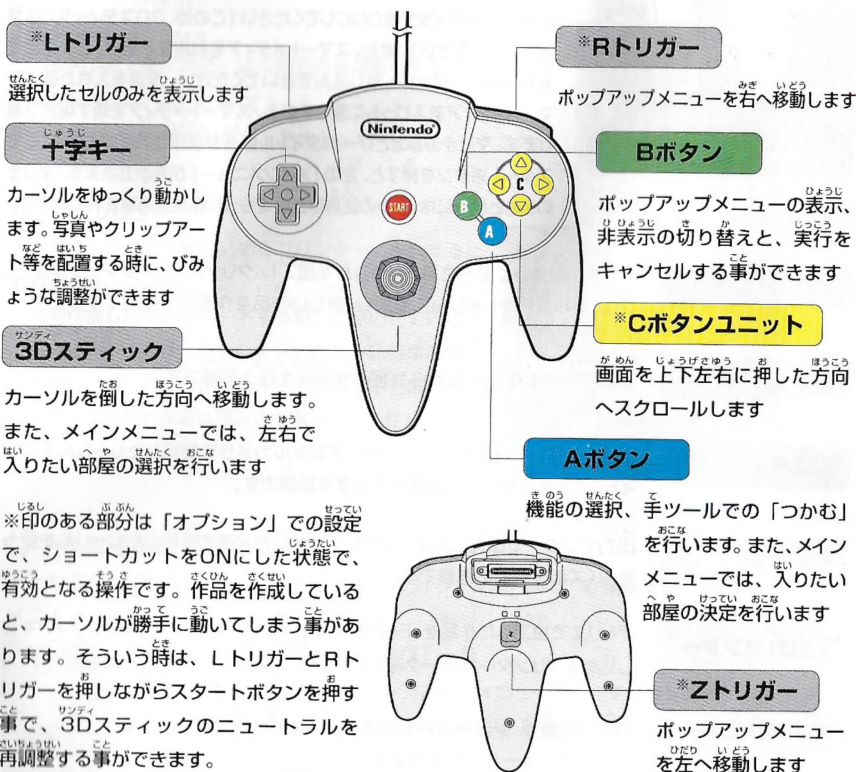
※F-DIサービスについては、40ページの「F-DIサービスについて」をご覧ください。

もくじ

操作説明

マリオのふぉとぴーでの、コントローラーの使いかたについて、説明します。

Aボタン
機能の選択、手ツールでの「つかむ」を行います。また、メインメニューでは、入りたい部屋の決定を行います

※印のある部分は「オプション」での設定で、ショートカットをONにした状態で、有効となる操作です。作品を作成していると、カーソルが勝手に動いてしまう事があります。そういう時は、LトリガーとRトリガーを押しながらスタートボタンを押す事で、3Dスティックのニュートラルを再調整する事ができます。

各アイコンの選択は、アイコンを矢印カーソルで選択して、Aボタンで決定します。

もじのにゅうりょくで、かくにん画面から出るには、Bボタンで出る事ができます。

アトリエの部屋では、Bボタンでポップアップメニューの表示、非表示を切り替えます。

マリオのふぉとぴーの始め方

まず、マリオのふぉとぴーのカセットをNINTENDO64本体に正しくセットし、電源スイッチをONにしてください（この時、3Dスティックには触れないでください）。また、スマートメディアを利用する時は、必ず電源を入れる前にスロットへ差し込んでおいてください。電源を入れた後にスマートメディアをスロットに差し込むと、スマートメディアを壊す場合があります。マリオのふぉとぴーのタイトル画面が表示されますので、ここでスタートボタンを押すと、左の「メインメニュー」が表示されます。マリオのふぉとぴーには、6つの便利な機能をもった部屋が用意されています。

1.アトリエ デジタルカメラで撮影されたしゃしんを加工し、クリップアートやキャラクター、プリントわく等をしゃしんに追加し、楽しい作品を作る為の部屋です。

2.てんじ室 作品データを確認しながらコピーや消去を行う部屋です。

3.スライド 出力センターで出力したデータや、デジタルカメラで撮影したしゃしんをスライドショー形式にテレビ画面に表示する部屋です。

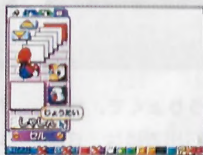
4.ゲーム 出力センターで出力したデータや、デジタルカメラで撮影したしゃしんを使った、パズルゲームの部屋です。

5.出力センター アトリエで加工した作品を、F-DIサービス用のデータや、スマートメディアを差し込めるプリンター用データ等として、スマートメディアに出力する部屋です。

6.オプション 音楽の有無や、ショートカットのON・OFFを切り替える部屋です。

出口 メインメニューを出て、タイトル画面に戻ります。

バルーンヘルプについて

バルーンヘルプは、矢印カーソルをアイコンに重ねた時に、そのアイコンの機能を教えてくれる便利なものです。

電源スイッチを切る時の注意

電源スイッチを切る時は、必ず「メインメニュー」で行ってください。その他の場所で電源スイッチを切るとスマートメディアがこわれることがあります。

アトリエ

アトリエの部屋に入ると、まず、作品のたてよこの向き、サイズを選択します。

「たて」「よこ」

作品の向きを、たて向き、よこ向きから選択します。

「ポストカード」「Lサイズ」

出力するサイズを選択します。どちらも、F-DIサービスに対応した作品を作ります。

「その他プリント」

スマートメディアを差し込めるプリンターに出力するための作品を作ります。

※前回作成した作品をロードする際、作品のたて向きよこ向き、サイズが一致した作品しか読み込む事は出来ません。よこ向きの作品を作っている途中では、たて向きで作られた作品は読み込む事は出来ません。

【アトリエ画面の各部の名称】

アトリエには「セル」「ちょうせい」「おえかき」「ファイル」の4つの機能を持ったポップアップメニューと、メニューバーがあります。

①「タグ」

ポップアップメニューの機能を切り替えます。ポップアップメニューには「セルメニュー」「ちょうせいメニュー」「おえかきメニュー」「ファイルメニュー」があります。

②「ポップアップメニュー」

各機能のスイッチが並びます。しゃしんでは「セルメニュー」を表示していますが、タグを選択する事で、ポップアップメニューの内容は切り替わります。

③「メニューバー」

画面の「拡大、縮小」や「きりとり」「はりつけ」「スクロール」等を行うスイッチが並びます。

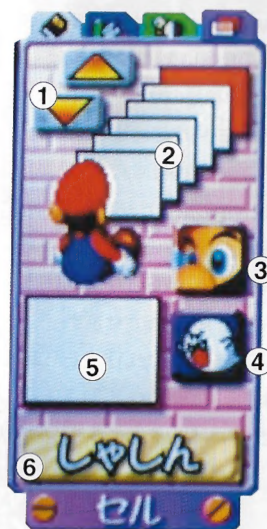
※ ポップアップメニューとメニューバーには「×」マークが付く機能があります。これは、選択されたセルの内容によっては使用できないことを意味します。

セルメニュー

「セル」とは？

実際の説明の前に、マリオのふぉとぴーで使われる「セル」について、説明します。

マリオのふぉとぴーでは、「セル」と呼ばれる部分に画像を読み込み、重ねて表示する事で作品を作成します。アニメーション等で良く使われる「セル画」と同じ原理です。アニメーションでは、透明なフィルム（これが、セルと呼ばれるもの）に絵を描き「遠くの背景」「周囲の背景」「人物」という順番で重ねる事で、一つのシーンが完成します。マリオのふぉとぴーもこれと同じで、透明なセルにしゃしんやクリップアート、プリントわくを読み込ませる事で、アニメーションの１シーンを作る様に、作品を組み立てて行く事が出来るのです。尚、各セルにはしゃしん、プリントわく、クリップアート、キャラクターは1つだけおくことができます。

セルメニューは、合計6つあるセルに対し、しゃしん、クリップアート、キャラクター等を割り当てます。セルの割り当ては、読み込みたい内容によって最初に選択しなければなりません。

①［まえへ］［うしろへ］：選択されたセルを、前後に入れ替えます。
②セルを選択します。3Dスティックを操作して目的のセルに合わせ、Aボタンを押す事で選択されます。選択されたセルは、赤く表示されます。
③［みる・みない］：選択されたセルを、一時的に見えなくしたり、元通りに見える様にします。
④［とうめいど］：選択されたセルを、半透明にする事ができます。完全な透明にまで調節する事ができます。
※キャラクターが割り当てられたセルには、透明度の調整は行えませんので、ご注意ください。
⑤選択されているセルの内容を表示します。
⑥［じょうたい］：選択されているセルの状態を表示します。選択すると「セルの選択メニュー」が開きますので、ここでセルの選択を行います。

【セルのせんたくメニュー】

［しゃしん］：①セルに、デジタルカメラ等で撮影した「しゃしん」を割り当てます。

［プリントわく］：②セルに、楽しいイラスト調の「プリントわく」を割り当てます。

［らくがき］：③セルに、線を引いたり、絵を直接描き込む「らくがき」を割り当てます。

［クリップアート］：④セルに、あらかじめ用意されたイラストや、「HAPPY NEW YEAR！」や「明けましておめでとう！」等のあいさつ文を割り当てます。

［キャラクター］：⑤セルに、スーパーマリオシリーズのキャラクター達を割り当てます。なお「キャラクター」は作品のサイズが「ポストカード」「Lサイズ」のどちらかの時で、一番手前のセルが選択されていなければ、ここで「キャラクター」を選ぶ事は出来ませんので、ご注意ください。

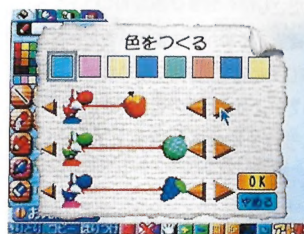
［もじ］：⑥セルに、もじを書き込む状態にします。

ちょうせいメニュー

ちょうせいメニューは、セルに「しゃしん」が選択された状態で、有効なメニューです。

①[あ か る さ]：しゃしんの明るさを調節します。
②[コントラスト]：しゃしんのコントラストを調節します。
③[いろちょうせい]：しゃしんの色合いを調節します。
④[セ ピ ア]：しゃしんを4種類のセピア調にします。
⑤[90°かいてん(右)]：しゃしんを右へ90度回転させます。
⑥[90°かいてん(左)]：しゃしんを左へ90度回転させます。
⑦[き り ぬ き]：自由選択や矩形選択で、選択された範囲以外を画面から消去します。
⑧[左右はんてん]：しゃしんを左右に反転させます。
⑨[上下はんてん]：しゃしんを上下に反転させます。
⑩「明るさ」「コントラスト」「いろちょうせい」を行う時に現れるスライドスイッチは、上でゆっくり上下しているジュゲムにカーソルを合わせ、Aボタンを押す事で最初の状態に戻す事ができます。

おえかきメニュー

おえかきメニューは、セルに「もじ」、「らくがき」が選択されている状態で、有効なメニューです。

①[ペ ン の い ろ]：描く時の色を表示します。※背景と同色の時、見えなくなる場合がありますのでご注意ください。
②[バックのいろ]：背景の色を調節します。色の調節はセルの選択に関係なく有効となります。
③[パレット32色]：ペンやスプレー等で、描く時の色を選択します。
④[色 を つ く る]：あらかじめ用意された32色以外で、自由に色を作る事ができます。作った色は、電源を切ると消えてしまいますが、作品に使用した色はセーブされます。
⑤[ち ょ く せ ん]：ここを選択すると、直線を描く事ができます。Aボタンを押しながら3Dスティックを動かすことにより直線が引けます。
⑥[れんぞくちょくせん]：ここを選択すると、連続して直線を描く事ができます。
⑦[し か く]：ここを選択すると、四角を描く事ができます。始点からAボタンを押しながら3Dスティックを操作し、終点で離すと四角が描かれます。
⑧[ま る]：ここを選択すると、円を描く事ができます。始点からAボタンを押しながら3Dスティックを操作し、終点で離すと円が描かれます。
⑨[ス ポ イ ト]：画面から、好きな場所の色を選択する事により、その色を使用することができます。
⑩[ぬ り つ ぶ し]：ここを選択すると、描かれた線等で囲まれた部分を、全てぬりつぶす事ができます。
⑪[も じ]：ここを選択すると、もじをにゅうりょくする事ができます。もじにゅうりょくについては、次の「もじのにゅうりょくについて」をご覧ください。
⑫[ペ ン]：ここを選択すると、自由な線を描く事ができます。Aボタンを押している間に3Dスティックを動かすと、自由な線が描かれます。ペンの太さは、4種類の中から選択する事ができます。
⑬[エ ア ブ ラ シ]：ここを選択すると、スプレーで描く様な線を自由に描く事ができます。スプレーのサイズは、4種類の中から選択する事ができます。
⑭[け し ゴ ム]：ここを選択すると、カーソルの動きに合わせて画面から線やスプレーを消す事ができます。消す範囲は、4種類の中から選択する事ができます。

もじのにゅうりょくについて

もじをにゅうりょくするには「セルメニュー」でセルを「もじ」に選択し、「おえかきメニュー」を開きます。すると、もじにゅうりょくアイコンが有効となりますので、これを選択します（「らくがき」と「もじ」は同じセルに同時に選択出来ませんので、ご注意ください）。
※にゅうりょくするもじの色は、「おえかきメニュー」で、「ペンのいろ」を選択することでかえられます。背景と同色の時、見えなくなる場合がありますのでご注意ください。

①[もじのしゅるい]：にゅうりょくするもじの種類を選択します。
②にゅうりょくするもじを選択します。漢字を選択した場合、五十音の下に選択された漢字の候補が表示されますので、左右で選択します。第一水準の漢字は音読みで、第二水準の漢字は画数で選択します。
※漢字のならびはJIS（日本工業規格）配列にしたがっています。この規格にはまれに訓読みでならんでいる漢字もあります。音読みで表示されなかった時は、訓読みでの選択をお試しください。（例：「谷」は「た」で表示されます。）
③[くうはく]：にゅうりょくしたもじに対して、上下左右に一もじ分づつスクロールさせて隙間を作ります。ここへ、新しいもじを追加する事ができます。
④[ぜんぶけす]：ここを選択すると、にゅうりょくしたもじを全て消す事ができます。
⑤[けってい]：もじのにゅうりょくを終了し、にゅうりょくしたもじを実際の画面上へ表示します。
⑥[ちゅうし]：ここを選択すると、もじにゅうりょくを中止します。これまでに入力した文字はすべて消えてしまいますので注意ください。
⑦[じょうたいかくにん]：ここを選択すると、にゅうりょくしたもじを確認する事ができます。また、ここではAボタンを押したまま3Dスティックを操作して範囲を選択し、別の場所へ同じもじを移動する事ができます。詳しくは「つくってみよう！」をご覧ください。
⑧にゅうりょくしたもじは、ここに並びます。⑨の矢印で、にゅうりょくする位置を上下左右にスクロールさせる事ができます。

※配置したもじは、クリップアートや写真と同様に、コインをつかむ事でサイズを変える事ができます。もじのサイズはたてよこそれぞれに倍数で変化します。
※にゅうりょくしたもじは、画面上では□の表示になりますが、F-DIサービスで出力したしゃしんや、スマートメディアを差し込めるプリンターで出力した場合にはもじがプリントされます。このもじのプリント印字状態は「てんじ室」で確認することができます。また、四隅のコインをひっぱり、もじを2倍以上に拡大すると画面上でもにゅうりょくしたもじを確認できます。

ファイルメニュー

ファイルメニューは、しゃしん、プリントわく、クリップアート、キャラクター等を割り当てられたセルへ読み込んだり、作った作品のセーブ、ロードを行うメニューです。

①[あたらしいさくひん]：画面上の作品を全て消します。作品の作成途中で選択すると、作成中の作品が消えてしまいますのでご注意ください。
②[さくひんのロード]：ここを選択すると、今まで作った作品を読み込む事ができます。しかし、作品のたて向きよこ向き、サイズが一致した作品しか読み込む事は出来ません。よこ向きの作品を作っている途中では、たて向きで作られた作品は読み込む事は出来ません。サイズも同様で「ポストカード」のサイズの作品を作っている途中では「Lサイズ」「その他プリント」の作品は読み込む事が出来ません。
③[しゃしんのロード]：ここを選択すると、しゃしんを読み込む事ができます。
④[プリントわく]：ここを選択すると、プリントわくを読み込む事ができます。
⑤[クリップアート]：ここを選択すると、クリップアートを読み込む事ができます。
⑥[キャラクター]：ここを選択すると、スーパーマリオシリーズのキャラクター達を読み込む事ができます。
⑦[さくひんのセーブ]：作った作品をセーブし、スマートメディアへ保存します。スマートメディアにライトプロテクトシールが貼ってあるとセーブができません。セーブした作品は②[さくひんのロード]の縮小画面で確認することができます。
⑧[へやをでる]：アトリエの部屋から出て、メインメニューへ戻ります。

スマートメディアが差し込まれていない状態では、スマートメディアのデータ（しゃしん、セーブされた作品データ）のセーブ、ロードを行う事が出来なくなります。スマートメディアの抜き差しを行う時は、必ず電源を切った状態で行ってください。電源が入った状態でスマートメディアを抜き差しすると、データやスマートメディア、マリオのふぉとぴーを破損する恐れがあります。

[対応スマートメディア]
2/4/8/16Mbyte（3.3V）
[対応デジタルカメラ]
Exif ver1.0/1.1/2.0/2.1,JFIF（JPEG基準）で記録されたもの
[対応画素数]最大200万画素

メニューバー

メニューバーは、アトリエでの色々な作業を助けてくれる便利な機能が備わっています。

きりとり　コピー　はりつけ　アトリエ

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫

①[き り と り]:「じゆうせんたく」「くけいせんたく」で選択した範囲の内側をきりとります。
※ちょうせいメニューの【きりぬき】は選択した範囲の外側をきりとります。

②[コ ピ ー]:「じゆうせんたく」「くけいせんたく」で、選択した範囲を一時的に記憶します。
らくがきが割り当てられたセルに対してのみ、有効な機能です。

③[は り つ け]:「きりとり」「コピー」された範囲を、セルの中央にはりつけます。

④[け す]:選択されているセルの内容を全て消去します。

⑤[もとにもどす]:選択されているセルを、ひとつ前の状態に戻します。

⑥[ス ク ロ ー ル]:拡大した画面を、3Dスティックの倒した方向へ移動させます。

⑦[か く だ い]:画面を、一段階づつ拡大してテレビ画面に表示します。

⑧[しゅくしょう]:画面を、一段階づつ縮小してテレビ画面に表示します。(⑦の操作を行った際に有効です。)

⑨[くけいせんたく]:「きりとり」「コピー」「はりつけ」を行う為の範囲を、四角で選択します。

⑩[じゆうせんたく]:「きりとり」「コピー」「はりつけ」を行う為の範囲を、3Dステックをつかって自由な形で選択します。

⑪[や じ る し]:機能によって、他の形になったカーソルを、元の矢印に戻します。

⑫[あんぜんりょういき]:安全領域を表示します。画面に紫色で表示される部分が安全領域です。

【安全領域について】

※F－DIでプリントした際、この領域外は出力されない場合があります。「キャラクター」「クリップアート」「もじ」は安全領域内にしか配置できませんが、「しゃしん」「らくがき」「プリントわく」は安全領域外に配置することも可能ですのでご注意ください。
F－DIサービスでは安全領域の外の画像は切れて出力される場合があります。

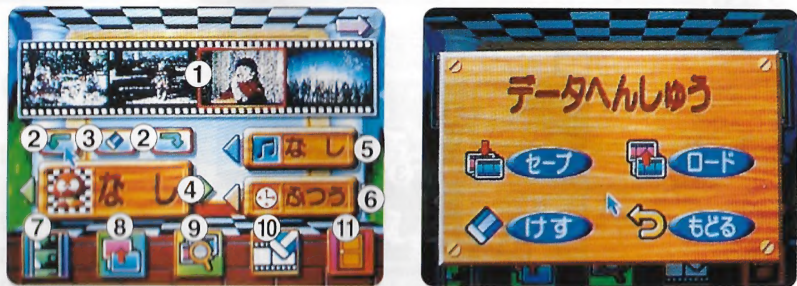
※ F－DIサービスをご利用の際の注意
白縁のないプリントを作る為には、背景となるセルの画像を、画面いっぱいに広げてください。
安全領域の外側の画面に白縁があるとプリントにも白縁が出る場合があります。

てんじ室

てんじ室は、作成した作品やしゃしんを画面に表示します。縮小画像で確認しながら、データの消去、データのコピーや、スマートメディアのデータをぜんぶけす事ができます。

① スマートメディアのスロットNo.を選択します。
② 表示する内容を「さくひん」「しゃしん」のどちらかに切り替えます。
③ 表示する内容の縮小画像を 表示します。
④ 選択されているデータを、もう片方のスマートメディアにコピーします。
⑤ 選択されているスマートメディアのデータをぜんぶけします。
⑥ 縮小画像のページを切り替えます。
⑦ 選択された縮小画像を、画面に表示します。
⑧ 選択された縮小画像のデータをけします。
⑨「てんじ室」を出て、メインメニューに戻ります。

スライド

スライドの部屋は、しゃしんを読み込み、スライド形式の画面を順に表示します。画面の切り替え方法は、ズームやフェードイン等から選択する事ができます。

①スライドショー形式に再生させるしゃしんを並べます。スライドは、しゃしんデータおよび出力センターで作成した作品を読み込む事ができます。合計10枚まで並べる事ができます。
②[まえへおくる・うしろへおくる]：スライドで再生させるしゃしんの順番を切り替えます。
③[け　す]：スライドの中の選択されたしゃしんデータを消去します。
④[がめんきりかえ]：しゃしんの切り替え方法を選択します。
⑤[お　ん　が　く]：スライド再生中の音楽を選択します。
⑥[ひょうじじかん]：しゃしんの表示時間を設定します。
これは、スライド再生されるしゃしんに、個別に設定する事ができます。
⑦[スライドさいせい]：スライド再生を開始します。
⑧[しゃしんのロード]：スライド再生させるしゃしんを読み込みます。ここを選択すると、縮小画像が表示されます。
⑨[データへんしゅう]：スライドデータのセーブ、ロード、消去を行います。
⑩[ぜ　ん　ぶ　け　す]：画面上にあるスライドデータを消去します。
⑪[へ　や　を　で　る]：「スライド」の部屋を出て、メインメニューに戻ります。

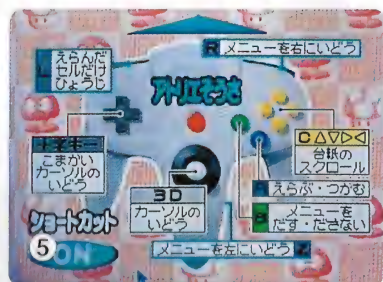
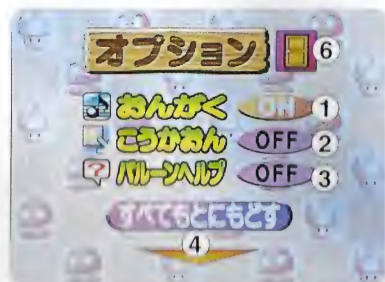
ゲーム

ゲームの部屋では、デジタルカメラで撮影したしゃしんおよび出力センターで作成した作品を使ってパズルゲームを楽しむ事ができます。また、マリオのふぉとぴーのタイトル画面のままでも、ゲームを楽しむ事ができます。

①現在、読み込まれているしゃしんの縮小画像が表示されます。
②ゲームの難易度を選択します。
③しゃしんを読み込みます。選択するとしゃしんの縮小画像が表示されますので、読み込みたいしゃしんを選択してください。
④ゲームの部屋を出て、メインメニューに戻ります。
⑤バラバラにされたしゃしんの正解順を教えてくれます。逆向きになっているピースは、青い色の数字が表示されます。
⑥ゲームを、一時中断します。
⑦パズルが完成するまでの時間をカウントします。
⑧しゃしんが表示されます。

ゲームの始め方は、まずしゃしんを読み込みます。次にレベルを選択して、バラバラになったピースの一つを選択した瞬間に自動で時間のカウントが開始され、スタートとなります。

オプション

オプションの部屋では、音楽や効果音の有無を設定する事ができます。

①音楽の有無を切り替えます。
②効果音の有無を切り替えます。
③アトリエでの、バルーンヘルプの有無を切り替えます。
④各設定を、初期状態に戻します。
⑤ショートカットのON／OFFを切り替えます。
⑥オプションの部屋を出て、メインメニューに戻ります。

出力センター①

出力センターは、アトリエで作成した作品を、F−DIサービス用のデータとしてスマートメディアに出力したり、スマートメディアを差し込めるプリンターのデータとして、スマートメディアに出力する部屋です。もじを入れた作品のデータを作るときは、「てんじ室」にてもじの内容、場所、色等を確認の上、出力してください。

※一枚のスマートメディアに対し、出力できる作品のサイズは、ポストカード、Lサイズ、その他のプリントのうち、いずれか一つだけですのでご注意ください。

①選択すると、出力の準備を行います
②出力センターを出て、メインメニューに戻ります。

【データをつくる】

①しゃしんの出力結果を表示します。
②出力されたしゃしんのサイズを表示します。
③出力されたしゃしんのたて、よこの向きを表示します。
④注文するプリント枚数をにゅうりょくします。
⑤ここを選択すると、アトリエでつくった作品が表示されます。出力したい作品を選択すると、データ作成が開始されます。この作成には数分かかります。尚、画像によっては10分以上かかる場合もあります。また、すでに出力をしたデータがある場合、そのデータを消す事もできます。
⑥出力先スマートメディアを選択します。
⑦出力のページを切り替えます。

出力センター②

F−DIサービスをご利用の際は、専用の注文書（当説明書の41ページをコピーしてください）に必要事項を記入し、出力センターで作成保存したスマートメディアとともにF−DIサービス取扱店にお持ちください。

《F−DIサービスをご利用の際の注意》

<ポストカード>の場合

一枚のスマートメディアに対し、一つの画像のみ出力可能です。プリント枚数は、10枚以上から受付します。

<Lサイズ>の場合

出力した全てのデータをプリントします。プリント不要のデータは、削除願います（「けす」を選択してください）。白縁のないプリントを作る為には、背景となるセルの画像を、画面いっぱいに広げてください。

※画面と出力プリントと印刷物の色合いが異なる場合があります。
※大幅に拡大した画像は画質が劣化する場合があります。

《別売りキャラクタ集をご利用の際の注意》

別売りのキャラクタ集のプリントは必ずふぉとぴープリント取扱店へお出しください。
ふぉとぴープリント取扱店は販売店にご確認ください。

つくってみよう！

ここからは、今まで説明した機能を使って実際に作品づくりをします。「つくってみよう！」は基本編・上級編・スライド編に分かれていますので順序にしたがってオリジナルの作品をつくってみましょう。

基本編…22P〜26P

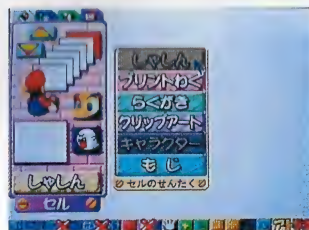
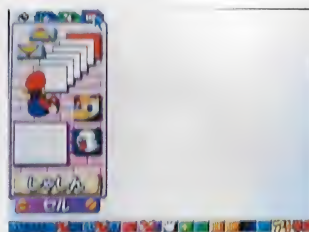
上級編…27P〜32P

スライド編…34P〜36P

つくってみよう! 基本編

ここでは、今まで説明してきた機能を使って、作品を実際の手順で作りながら説明して行きます。ここでの説明は、「よこ向きの作品、サイズはポストカード」で行います。

基本編

まずは基本的な操作から覚えましょう。ここで説明する作品は「しゃしん」「プリントわく」「クリップアート」の三つのセルを使った作品です。この作品を例にして、説明して行きます。

◆1 しゃしんを画面に取り込んでみる。

①Bボタンを押し、「セルメニュー」を開きます。

②セルを選択します。

③最初、各セルには「しゃしん」が割り当てられています。選択したセルが「しゃしん」以外の時は、「セルのせんたくメニュー」を開いて、「しゃしん」を割り合ててください。

④次に「ファイルメニュー」を開きます。

⑤「しゃしんのロードアイコン」を選択します。

⑥縮小画像が表示されますので、ここで読み込みたいしゃしんを選択します。画面表示分のしゃしんのロードが終了しないと選択できません。しゃしんのファイル形式によってはロードに数分かかるものがあります。

⑦しゃしんのサイズは、しゃしんの端にあるコインを、Aボタンを押しながら3Dスティックを操作する事で、思い通りの大きさに変える事ができます。大きさを変えるとき、縦横比は固定できません。不自然にならぬよう、画面で充分にご確認ください。

これで、しゃしんの読み込みは完了です。

※大幅に拡大した画像はプリント出力した時、画質が劣化する場合があります。

◆2 プリントわくを重ねてみる。

①セルメニューを開き、一つ手前のセルを選択します。

②そこへ「プリントわく」を割り当てます。

③続いて「ファイルメニュー」を開き…

④プリントわくをロードするアイコンを選択し、ロードします。

プリントわくはカセットに組みこまれていますが、別売りのイラスト集を使えば、さらに多くのプリントわくを利用することができます。

これで「しゃしん」の上に「プリントわく」が読み込まれました。

❸ 続いて、クリップアートを読み込んでみる。

①「セルメニュー」を開きます。

②また、一つ手前のセルを選択して、セルに「クリップアート」を割り当てます。

③「ファイルメニュー」を開き、クリップアートをロードするアイコンを選択します。

④しゃしんの時と同様に、縮小画像から読み込みたいクリップアートを選択すると、セルに読み込まれます。

クリップアートはカセットに組みこまれていますが、別売りのイラスト集を使えば、さらに多くのクリップアートを利用することができます。

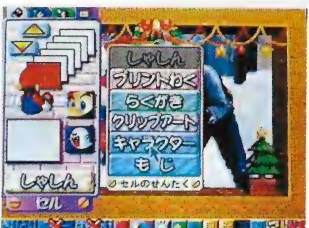
⑤しゃしんの時と同様に、四隅のコインを掴んで、思い通りのサイズに変える事ができます。また選択中のクリップアートは、好きな場所へ配置する事もできます。

これで「しゃしん」「プリントわく」の上に、クリップアートを読み込む事が出来ました。

❹ 最後に、キャラクターを置いてみる。

①セルメニューを開き、一番手前のセルを選択します。

②選んだセルに「キャラクター」を割り当てます。

※「キャラクター」を割り当てるには、必ず一番手前のセルでなければなりません。つまり「キャラクター」は一作品に一枚だけ割り当てる事ができます。

別売りのキャラクタ集を使えば、カセット組みこみ以外のキャラクターを利用することができます。別売りのキャラクタ集を使った作品のプリントは必ずふぉとぴープリント取扱店へお出しください。

③次に「ファイルメニュー」を開き…

④キャラクターをロードするアイコンを選択します。

⑤縮小画像が表示されますので、読み込みたいキャラクターを選択します。

これで「しゃしん」「プリントわく」「クリップアート」の上に、キャラクターが読み込まれました。

※キャラクターはサイズを変更できませんので、ご注意ください。

※キャラクターにはコピーライト表記がされています。画面上では読みにくい場合があります。F-DIサービスやスマートメディアを差し込めるプリンターで出力した場合は問題ありませんが、背景と同色の時、見えなくなる場合がありますのでご注意ください。

5 作った作品を保存する。

作成した作品は、スマートメディアへセーブし、保存しておく事ができます。

①「ファイルメニュー」を開き、作品のセーブアイコンを選択します。

②セーブしたい場所を選択します。

保存した作品を再び読み込みたい場合は、同じ手順で「ファイルメニュー」にある作品のロードアイコンを選択すれば、作品を読みこむ事ができます。作品をロードする場合は、同じ手順で、さくひんのロードアイコンを選択し、縮小画像から選択します。

基本的な操作の説明は以上です。

※アトリエでセーブしただけでは、F-DIサービスに注文することはできません。
F-DIサービスをご利用の際は、必ず出力センターでデータを作成してください。

しゃしんを加工し、もじをにゅうりょくしてみよう！

上級編

今までは、基本的な操作での作品の作成方法を説明して来ました。ここからは「しゃしんのきりぬき」「もじのにゅうりょく」「らくがき」等の機能を使った作品の作成方法について説明します。

1 しゃしんをきりぬいて、別のしゃしんに重ねて表示させる。

①基本編での方法と同様に、しゃしんをロードして…

②同じ手順で、一つ手前のセルに重ねて表示したいしゃしんをロードします。

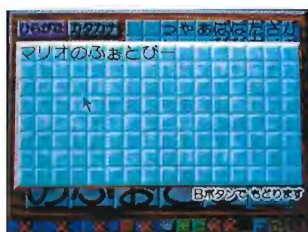
③手前のしゃしんを、メニューバーの「じゆうせんたく」を使って、きりとり部分を選択します。

④次に、ちょうせいメニューの「きりぬき」を選択すると…

②次に「おえかきメニュー」を開き、もじにゅうりょくアイコンを選択します。

③「もじのにゅうりょく」の画面が開きますので…

④漢字やひらがな、その他の記号を使って、もじをにゅうりょくしていきます。

⑤もじをにゅうりょくし終わったら、かくにんアイコンを選択して…

⑥にゅうりょくした配列を確認します。

❹ にゅうりょくしたもじを移動させる

①「もじのにゅうりょく」画面で、かくにんアイコンを選択し、かくにん画面を開きます。

②Aボタンを押しながら3Dスティックを使って、配列を変えたいもじの範囲を選択します。選択された範囲は、オレンジ色で表示されます。

③選択し終わったら、一度Aボタンを離します。選択された範囲内でもう一度Aボタンを、今度は押しっぱなしにします。

④Aボタンを押したまま、3Dスティックでもじを移動させたい場所まで、選択範囲を動かします。

⑤Aボタンを離します。

⑥もじのにゅうりょく画面を出て、セルにもじを表示します。
※入力したもじは、画面中央に表示されます。入力内容の確認は「もじのにゅうりょく」画面で行ってください。

⑦しゃしん、クリップアート等と同様に、好きな位置へ移動する事ができます。また配置したもじは、クリップアートやしゃしんと同様に、コインをつかむ事でサイズを変える事ができます。もじのサイズはたてよこそれぞれ倍数で変化します。※住所等、何度もつかいたいもじは、もじのにゅうりょくのみ行ってセーブしておきましょう。つぎの作品をつくる時にロードしてつかうと、もじのにゅうりょくをやり直す必要がないのでべんりです。

さらにクリップアートやプリントわくを重ねると、こんなさくひんをつくる事ができます。いろいろ組み合わせて、楽しいさくひんをつくりましょう！

クリップアートやプリントわくはカセットに組みこまれていますが別売りのイラスト集を使えば、さらに多くのクリップアートやプリントわくを利用することができます。

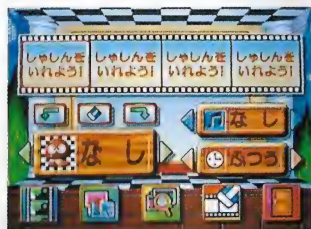
こんな時は…

作品を作っていると、セルの選択順番によっては下の作品の様に手前のセルに隠れて見えなくなってしまう事があります。こういう場合は、セルの前後を入れ替える事で、カンタンに解決する事ができます。

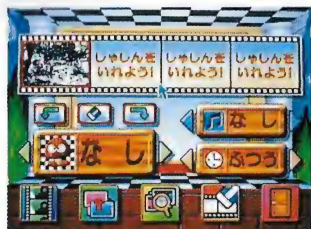
①セルメニューを開き手前に出したいセルを選択します。
②次に、セルの前後入れ替えアイコンの「まえへ」を選択します。

③これで、セルの前後を入れ替える事が出来ました。手前のセルを後ろに移動させたい場合は、セルの前後入れ替えアイコンの「うしろへ」を選択する事で、一つ後ろへ入れ替える事ができます。セルの入れ替えは、何度でも行う事ができます。

つくってみよう！ スライド編

ここでは、スライドショーの作り方を説明して行きます。

❶ スライド再生させたいしゃしんを読み込む。

①しゃしんのロードアイコンを選択します。

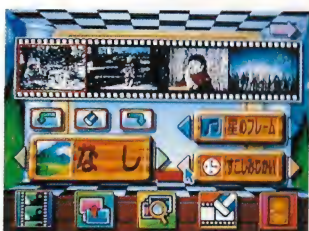
②縮小画像が表示されますので、スライド再生させたいしゃしんを選択します。

③同じ手順で、しゃしんを並べます。
しゃしんは、10枚までロードする事ができます。

❷ スライドの順番を入れ替える

①スライドの再生順を変えたい場合は、順番を変えたいしゃしんを選択し…

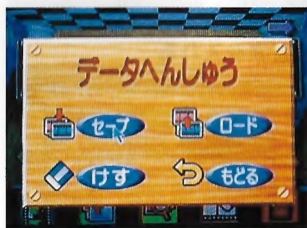
②前後に入れ替えるアイコンを選択します。

❸ スライドショーに、音楽を入れる

①スライドショーに、流れる曲を入れる場合は、おんがくアイコンを選択します。
②ここで選択した曲が、スライド中に再生される曲となります。

❹ スライドの表示時間をかえるには

①スライドの、表示時間を選択します。これは、10枚あるしゃしんにそれぞれ違った時間を設定する事ができます。

❺ スライドの表示方法をかえるには

①スライドの表示方法を、がめんのきりかえアイコンで選択します。表示時間と同様に、10枚あるしゃしんに、それぞれ違った表示方法が設定できます。

❺ 作ったスライドショーのデータをセーブする。

①データへんしゅうアイコンを選択します。

②「セーブ」を選択します。

③セーブしたいスマートメディアを選択し、セーブする場所を選択します。一枚のスマートメディアに、最大三つまでセーブさせる事ができます。
尚、スマートメディアの空容量によってはセーブできない場合があります。

スライドショーのデータをロードしたい場合は、同じ手順で「ロード」を選択します。

※セーブしたスライドショーのデータは、しゃしんとは別なものです。スライドショーのデータからしゃしんをとり出す事はできません。

さくいん

あ

か

さ

た

な

お問い合わせ先

●ユーザーサポート

ダットジャパン株式会社

〒011－0032

北海道札幌市北区北32条西10丁目1−7 ダットビル

http://www.datt.co.jp

●ユーザーサポートセンター

TEL.011(736)5350　FAX.011(716)5350

●サポート時間：土日祝祭日をのぞく平日

A.M.10:00～P.M.12:00　P.M.13:00～P.M.16:00

F−DI サービスについて

FUJIFILM F−DI サービスのご案内

DIGITAL IMAGING
FDI
SERVICE

F−DI サービスは、富士フイルムグループが提供するデジタルイメージングサービスです。F−DI サービスは、右のマークのステッカー・ポスターのあるお店で受け付けています。サービス内容及び取扱店の最新情報は富士フイルムのホームページをご参照ください。

http://www.fujifilm.co.jp/fdi

マリオのふぉとぴーからのF−DI 出力について

「NINTENDO 64」と「マリオのふぉとぴー」で作成された画像をスマートメディアに出力し、F−DI ショップ（取扱店）にお持ちください。銀塩写真と同様の高品質プリントを作成します。（一般的には、テレビ画面でみるよりも高い解像度の美しいプリントに仕上がります。）

サービスの内容

○対応メディア　スマートメディア
○対応プリントサイズ　Lサイズ　89×127mm
　　　　　　　　　　　ポストカード　97×145mm（はがきに貼った状態でお渡しします）

※プリント注文の際は、次のページの専門注文書をコピーの上ご記入いただき、スマートメディアと一緒にF−DI ショップにお持ちください。

F−DI サービスをご使用いただく際の注意事項

●F−DI サービスをご利用の際は、必ず出力センターで注文データを作成してください。
●注文を出力したスマートメディアのフォルダ名やファイル名は、絶対に変更しないでください。
●お客様が作成された画像のサイズによっては、仕上がりプリントに意図しない余白が発生したり画像の一部が欠けたりします、取扱説明書を良く読んで、出力してください。
●ポストカードは、10枚以上から受け付けております。
●お客様のテレビ画面上の色と、プリントされた写真の色は必ずしも一致しません。
●もじなどは小さすぎるときれいにプリントできないことがあります。
●お持ち込みいただいたスマートメディアの扱いには十分注意しますが、万一の損傷については同性能の生メディアにてご容赦願います。
●スマートメディアはケースに入れてお持ちください。

F−DI サービスに関するお客様相談窓口

F−DI サービスサポートセンター／TEL（03）5642−8451　FAX（03）5641−3512
一部の祝日を除く10：00〜17：00

本注文書は「NINTENDO 64」と「マリオのふぉとぴー」で作成された画像からのプリント注文専用です。「マリオのふぉとぴー」で作成された画像の入ったスマートメディア以外には当注文書はご使用いただけませんのでご注意願います。通常のF−DI サービスのご注文には使用できません。

受付番号
1 お名前・ご連絡先［必ずご記入ください］

お名前	
ご連絡先（TEL）	（　　　）

2 ご注文サイズ［必ずご記入ください］下記のいずれかに○をしてください。

ポストカード		はがきサイズ	→ <3>について必ずご記入願います
Lサイズ		通常の写真サイズ	→ <4>をお読みください

3 ポストカードをご注文の場合［ポストカードをご注文の方のみご記入ください］

どのはがき仕上げをご注文しますか。いずれかに○をしてください。

官製年賀はがき		官製はがき代を頂戴致します
官製普通はがき		
私製年賀はがき		切手をお貼りください
さくらめーる		官製はがき代を頂戴致します
かもめーる		
ご注文枚数		10枚からお受けします

＊はがきは現像所で用意しております。
＊「年賀はがき」「さくらめーる」「かもめーる」は季節によりお受けできない場合がありますのでご了承ください。

Lサイズのプリントをご注文の場合

「マリオのふぉとぴー」の「出力センター」で作成しスマートメディアに出力された画像は、全てプリントされます。各画像のプリント枚数も「出力センター」で設定した枚数となります。プリント不要な画像は「出力センター」で削除してください。

■お持込みいただいたスマートメディアの扱いには十分注意いたしますが、万一の損傷については同性能の生メディアにてご容赦願います。（スマートメディアはケースにいれてお持ちください。）

F−DI サービス取扱店様

本注文書は「NINTENDO 64」と「マリオのふぉとぴー」で作成された画像からのプリント注文書です。注文書が正しく記入されていることをご確認いただき、スマートメディアと共にお取り引きのラボにお出しください。尚、納期等につきましてはお取り引きのラボまでお問い合わせ願います。

この64(ロクヨン)マークは、
任天堂および任天堂よりライセンス
許諾を受けているNINTENDO 64
関連製品に表示されています。

「本製品は日本国内専用です。外国ではテレビの構造、放送方式などが異なりますのでご使用できません。」

FOR SALE AND USE IN JAPAN ONLY AND COMMERCIAL RENTAL PROHIBITED.
本品は日本国内だけの販売および使用とし、また商業目的の賃貸は禁止されています。

Licensed by NINTENDO
および NINTENDO64 は任天堂の商標です。
スーパーマリオは任天堂の登録商標です。
ふぉとぴーは東京エレクトロンデバイス株式会社の商標です。

© Nintendo
©1998 TOKYO ELECTRON DEVICE LIMITED.
©1998 DATT JAPAN INC.

販売元:株式会社ハギワラシスコム
発売元:東京エレクトロンデバイス株式会社
開発元:ダットジャパン株式会社

フォント協力;ダイナラブ・ジャパン株式会社
本文中の仕様は予告無しに変更される場合があります。